



第2回講座レクリエーション研修52名参

9月19日（土）に、地域づくり支援センター体育室において第2回講座「レクリエーション研修」が行われました。この講座は、来年行われる予定の教育キャンプや、小学生との雪遊びなど、市内小学生と触れ合う講座に向けて、リーダーとしての資質や、人を楽しませる力を身につけるための講座です。午前中は、山口県十種ヶ峰青少年自然の家から2名の講師を派遣して頂き、AFPY研修を行いました。研修のお陰で、中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブの絆がさらに深まりました。



ジャンケンで黒電話・携帯・スマホになります



紐を引きあっています



紙飛行機を飛ばしています



番号を踏みながら渡ります

AFPY 研修の振り返り

- ・高校生がテキパキ進んで動いていて、みんなをまとめているのを見て、私も高校生になったら中学生をまとめられる人になりたいと思いました。（1年）
- ・今日の講座では「何かを学ぶためには、自分で体験する以上に良い方法はない。」ということを実感できる内容でした。これを学校や地域、日常生活で生かしたいと思いました。（3年）
- ・初めて会ったのにレクリエーションで色々なことを達成していくにつれて、仲が深まっていくということを体験できて良かったです。（3年）

KYT（危険予知トレーニング）学習

企画実行委員の石川さん・桑原さんによる、KYT 学習が行われました。中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブの活動が本格化する中でとても大切な学習でした。今回は、クリスマスの集いのイラストから、どんな危険があるかを考え、それを数値化する活動もありました。この研修を生かして、今後の活動では、自分の命は自分で守りながら、リーダーとして具体的な指示を出して、安全で楽しい活動にすることを学習しました。

光ジュニアクラブの高校生大活躍！！

光ジュニアクラブの高校生は、地域や社会を支える人材になるため、様々な体験を積み重ねています。今年度も、開講式の司会や進行の補助、受付などを行いました。今回の講座では、受付などの仕事を行いながら、午後の2講座を担当しました。高校生としての勉強や部活で忙しい中、コロナ禍でもあり集まっての打ち合わせは行えないため、SNSなどを駆使しながら打ち合わせを行い、今回の役割を十分に果たしてくれました。



KYT 研修で危険箇所を話し合っています



レクリエーションを高校生が教えています

KYT 研修・高校生が講座を担当したレクリエーション研修の振り返り

- KYT 研修では、危険な所が何か良く分かり、自分の生活を振り返る良いきっかけになりました。（1年）
- 中学生リーダーの活動で発見したことは、仲間と何かを成し遂げることは、本当に大切な事だと分かりました。みんなで協力して、何かを成し遂げる、その喜びに感動しました。（1年）
- レクリエーション研修をまだしたことのない仲間に教えたり、手本になったりしたことは初めてだったので、とても成長できたと思います。（2年）
- 午後からの参加で、はじめはどうしたら良いかわからなかったけれど、昨年も中りに所属していたので、1年生にレクリエーションを教えてあげました。また、シーンとする場面があっても、積極的に発言できたと思います。（2年）
- 今回は、グループをつくり高校生から教えてもらったことを発表するという活動がありました。私は、自分から前に立てず、他の人が前に出ているのを見るだけしかできませんでした。次からは、今回の反省を生かし、リーダーになれるように頑張っていきたいです。（2年）